

# 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型） ヘッジなしコース

設定日：2011年9月16日

償還日：2018年7月5日

決算日：原則毎月9日

収益分配：決算日毎

基準価額：13,250円

純資産総額：0.39億円

※当レポートでは基準価額を1万円当たりで表示しています。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## 運用実績

### <基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。  
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

### <資産構成比率>

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	0.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.0%
現金・その他	100.0%

### <基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-0.10%	2.42%	-5.85%	1.59%	3.58%	96.97%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

### <分配金実績(税引前)>

設定来合計	直近12期計	17-7-10	17-8-9	17-9-11	17-10-10	17-11-9
5,240円	840円	70円	70円	70円	70円	70円
17-12-11	18-1-9	18-2-9	18-3-9	18-4-9	18-5-9	18-6-11
70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円

### <基準価額騰落の要因分解(月次ベース)>

前月末基準価額	13,333円
当月お支払いした分配金	-70円
要	
因	
株式要因	—
為替要因	—
その他	—
当月末基準価額	13,250円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

## ご参考

### <利回りなど>

株式配当利回り	4.33%
---------	-------

※株式配当利回りは将来の運用成果等を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

# 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型） 資源国通貨コース

設定日：2011年9月16日  
収益分配：決算日毎

償還日：2018年7月5日  
基準価額：8,310円

決算日：原則毎月9日  
純資産総額：0.96億円

※当レポートでは基準価額を1万円当たりで表示しています。  
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## 運用実績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。  
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

## ＜資産構成比率＞

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド ナチュラル・リソース・カレンシーズ・クラス	0.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.0%
現金・その他	100.0%

## ＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-3.02%	-3.96%	-11.42%	-1.06%	11.34%	83.64%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

## ＜分配金実績（税引前）＞

設定来合計	直近12期計	17-7-10	17-8-9	17-9-11	17-10-10	17-11-9
8,000円	1,200円	100円	100円	100円	100円	100円
17-12-11	18-1-9	18-2-9	18-3-9	18-4-9	18-5-9	18-6-11
100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円

## ＜基準価額騰落の要因分解（月次ベース）＞

前月末基準価額	8,669円	
当月お支払いした分配金	-100円	
要	株式要因	—
	為替要因	—
	為替取引によるプレミアム/コスト要因	—
因	その他	—
当月末基準価額	8,310円	

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

## ご参考

### ＜利回りなど＞

株式配当利回り	4.33%
為替取引によるプレミアム/コスト	3.81%
組入株式通貨の加重平均金利	(1.16%)
資源国通貨短期金利	(4.97%)

※株式配当利回りは将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。当数値は理論的な数値であり、当ファンドの為替取引によるプレミアム/コストの実際の値を示すものでも将来の運用成果等を約束するものでもありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

# 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型） オーストラリアドルコース

設定日：2011年9月16日  
収益分配：決算日毎

償還日：2018年7月5日  
基準価額：9,056円

決算日：原則毎月9日  
純資産総額：0.38億円

※当レポートでは基準価額を1万円当たりで表示しています。  
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## 運用実績

### <基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。  
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

### <資産構成比率>

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド オーストラリアドル・クラス	0.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.0%
現金・その他	100.0%

### <基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-2.00%	1.06%	-9.35%	-1.48%	4.10%	79.90%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

### <分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	17・7・10	17・8・9	17・9・11	17・10・10	17・11・9
7,640円	1,200円	100円	100円	100円	100円	100円
17・12・11	18・1・9	18・2・9	18・3・9	18・4・9	18・5・9	18・6・11
100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円

### <基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	9,339円	
当月お支払いした分配金	-100円	
要	株式要因	—
	為替要因	—
	為替取引によるプレミアム/コスト要因	—
因	その他	—
当月末基準価額	9,056円	

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

## ご参考

### <利回りなど>

株式配当利回り	4.33%
為替取引によるプレミアム/コスト	0.85%
組入株式通貨の加重平均金利	(1.16%)
オーストラリアドル短期金利	(2.01%)

※株式配当利回りは将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。当数値は理論的な数値であり、当ファンドの為替取引によるプレミアム/コストの実際の値を示すものでも将来の運用成果等を約束するものでもありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

# 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型） ブラジルリアルコース

設定日：2011年9月16日  
収益分配：決算日毎

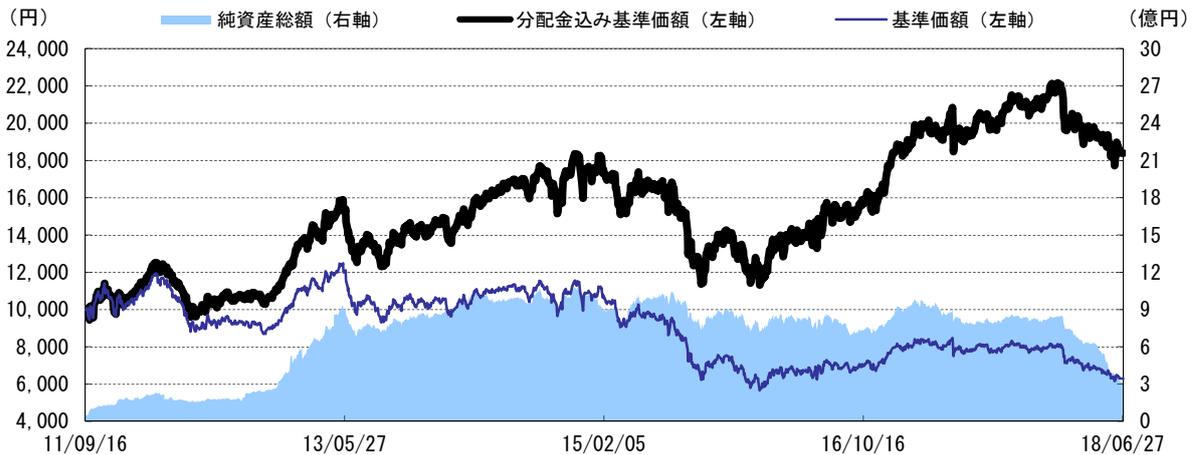
償還日：2018年7月5日  
基準価額：6,288円

決算日：原則毎月9日  
純資産総額：3.09億円

※当レポートでは基準価額を1万円当たりで表示しています。  
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## 運用実績

### <基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。  
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

### <資産構成比率>

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド ブラジルリアル・クラス	0.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.0%
現金・その他	100.0%

### <基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
0.48%	-5.80%	-13.76%	-4.86%	15.01%	83.97%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

### <分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	17・7・10	17・8・9	17・9・11	17・10・10	17・11・9
9,530円	1,200円	100円	100円	100円	100円	100円
17・12・11	18・1・9	18・2・9	18・3・9	18・4・9	18・5・9	18・6・11
100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円

### <基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	6,357円	
当月お支払いした分配金	-100円	
要	株式要因	—
因	為替要因	—
	為替取引によるプレミアム/コスト要因	—
	その他	—
当月末基準価額	6,288円	

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

## ご参考

### <利回りなど>

株式配当利回り	4.33%
為替取引によるプレミアム/コスト	5.00%
組入株式通貨の加重平均金利	(1.16%)
ブラジルリアル短期金利	(6.16%)

※株式配当利回りは将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。当数値は理論的な数値であり、当ファンドの為替取引によるプレミアム/コストの実際の値を示すものでも将来の運用成果等を約束するものでもありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

# 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）

ヘッジなしコース／資源国通貨コース／オーストラリアドルコース／ブラジルリアルコース

## グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンドのポートフォリオの内容

※日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報です。当外国投資信託の数値です。  
※比率は組入株式評価総額に対するものです。

### <組入上位10銘柄>（銘柄数：77銘柄）

	銘柄名	国名	業種	比率
1	VERIZON COMMUNICATIONS INC	アメリカ	通信サービス	5.08%
2	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	生活必需品	4.66%
3	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス	ヘルスケア	3.79%
4	CISCO SYSTEMS INC	アメリカ	情報技術	3.60%
5	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	3.43%
6	COCA-COLA CO/THE	アメリカ	生活必需品	3.26%
7	NOVARTIS AG-REG	スイス	ヘルスケア	3.16%
8	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	情報技術	3.11%
9	ALTRIA GROUP INC	アメリカ	生活必需品	2.64%
10	SANOFI	フランス	ヘルスケア	2.21%

### <組入上位5業種>

	業種	比率
1	生活必需品	14.8%
2	ヘルスケア	14.3%
3	金融	13.6%
4	一般消費財・サービス	11.2%
5	通信サービス	11.1%

### <組入上位5カ国>

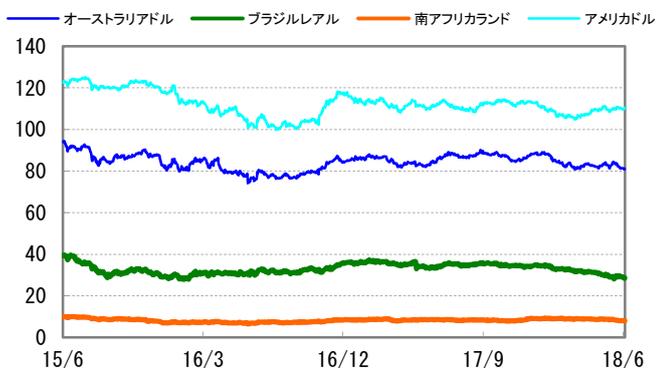
	国名	比率
1	アメリカ	49.4%
2	スイス	8.4%
3	イギリス	7.3%
4	カナダ	6.2%
5	日本	5.2%

### <組入上位5通貨>（ヘッジなしコース）

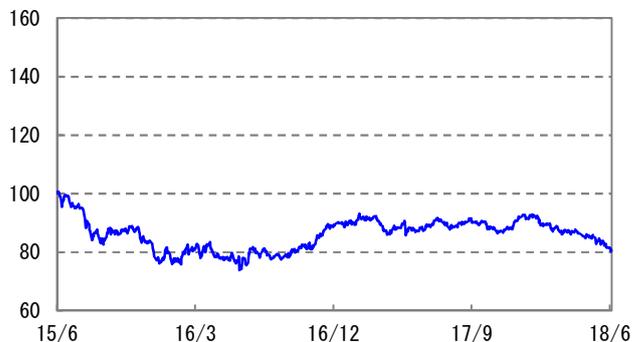
	通貨	比率
1	アメリカドル	49.4%
2	ユーロ	15.2%
3	イギリスポンド	8.4%
4	スイスフラン	8.4%
5	カナダドル	6.2%

## ご参考情報

### <為替推移>



### <為替推移 資源国通貨>



※オーストラリアドル、ブラジルリアル、南アフリカランドに等ウェイトで投資したものと計算しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）

ヘッジなしコース／資源国通貨コース／オーストラリアドルコース／ブラジルリアルコース

### 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

#### ◎市場環境

6月の世界の株式市場は、国ごとにばらつきはあったものの、総じて前月と比べて下落しました。前半は、米国の経済指標が市場予想を上回ったことで、米国経済に対する楽観的な見方が強まったこと、米国連邦公開市場委員会（FOMC）開催を前に、米国の金融政策がタカ派的にはならないとの見方が強まったことに加えて、欧州中央銀行（ECB）が政策金利を2019年夏まで据え置く方針を示したことなどから、総じて上昇しました。後半は、米国と中国の貿易摩擦が激化し、世界経済や企業業績に悪影響を及ぼすとの懸念が高まったことや、それに伴ってドイツの自動車メーカーが収益見通しを下方修正するなど欧州企業の業績懸念が高まったことなどから、総じて下落しました。

高配当株式は、米国、スペインなどが相対的に堅調に推移したものの、ドイツ、イギリスなどが相対的に軟調に推移しました。

アメリカドルは、米国の保護主義的な貿易政策への警戒感などによるリスク回避の円買い需要が強まる局面があったものの、堅調な内容の米国雇用統計を受けて景気に対する楽観的な見方が広まったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）が、2018年通年の政策金利の引き上げ回数が増える見通しを示したことなどを受けて、円に対して上昇しました。

6月の円／ユーロ相場は、米国の保護主義的な貿易政策への警戒感などによるリスク回避の円買い需要が強まる局面があったものの、欧州中央銀行（ECB）当局者が年内に量的緩和政策を終了する可能性があることと示唆したことや、ユーロ圏総合購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったことなどがユーロ買い要因となり、円安／ユーロ高となりました。

オーストラリアドルは、オーストラリアの2018年1－3月期国内総生産（GDP）が市場予想を上回ったことなどが上昇要因となったものの、オーストラリアの貿易黒字が市場予想を下回ったことや、米国の保護主義的な貿易政策への警戒感などによるリスク回避の円買い需要が強まったことなどを受けて、円に対して下落しました。

ブラジルリアルは対円で下落しました。大統領選挙の世論調査は引き続き中道改革派候補の支持低迷を示している一方、右派候補が中道左派で環境保護主義者の候補をリードしています。ブラジルの中央銀行は市場予想通り政策金利を据え置くとともに、トラック運転手のストライキを受けて2018年の経済成長率予想を下方修正しました。ポジティブな材料としては、市場では減少を予想していた4月の小売売上高が予想を上回り、小幅ながら拡大をみせました。

南アフリカランドは対円で下落しました。下落の主な要因は投資家のリスク回避姿勢の強まりによるもので、海外投資家が新興国の資産から安全資産へと投資資金を避難させるなか、新興国通貨全般が売り込まれました。南アフリカランドにとってさらなる打撃となったのはマクロ経済指標の低迷であり、一般的に市場予想を下回りました。第1四半期国内総生産（GDP）が前期比でマイナスとなり、市場予想を下回るなど、経済がリセッション（景気後退）に陥りつつあることが示唆されました。

#### ◎運用概況

7月5日の繰上償還に向けて保有銘柄の売却を完了し、ポートフォリオを現金化しました。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）

ヘッジなしコース／資源国通貨コース／オーストラリアドルコース／ブラジルリアルコース

### ファンドの特色

#### 1. 主として、世界の高配当利回り株式に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざします。

- ・当ファンドは、主要投資対象である外国投資信託「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド」の各クラスを通じて、世界の高配当利回り株式に投資を行ないます。

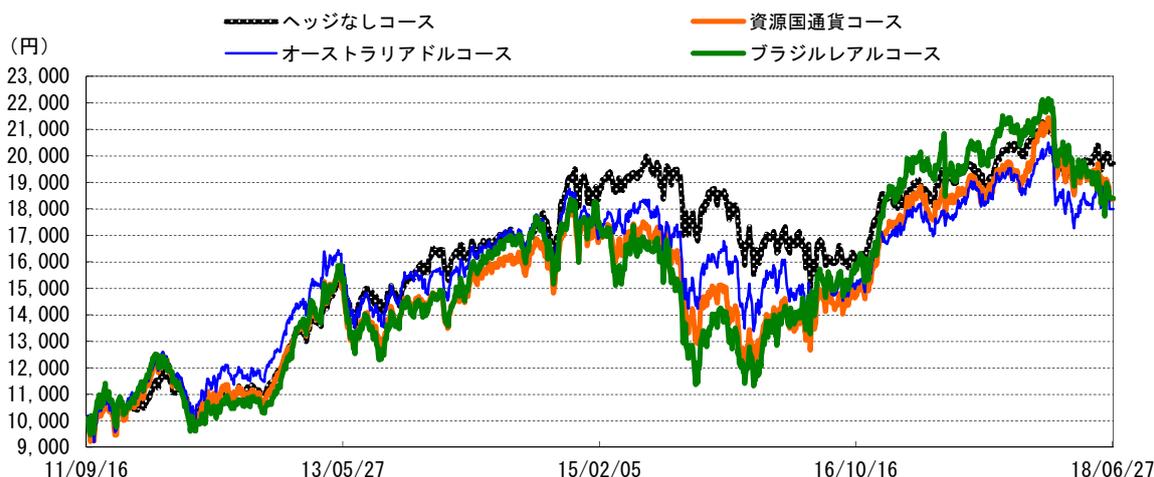
#### 2. お客様の運用ニーズに応じて、通貨コースをお選びいただけます。

- ・通貨運用を行なわない「ヘッジなしコース」、通貨運用を行なう「資源国通貨コース」「オーストラリアドルコース」「ブラジルリアルコース」の4つのコースからお選びいただけます。
- ・通貨運用を行なう3コースについては、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の享受が期待できます\*。
- \*原資産通貨に対して各コースの通貨で為替取引を行なうことにより、実質的に、お選びいただいたコースの為替変動の影響を受けます。  
なお、各コースの通貨と原資産通貨との間の金利差水準によっては、金利差相当分が為替取引によるコストとなる場合があります。

#### 3. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

- ・値上がり益および配当等収益などを原資として、毎決算時に安定した収益分配を行なうことをめざします。
- ・毎月9日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。
- ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。
- ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

### 各コースの分配金込み基準価額の推移



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込みメモ

- 商品分類 追加型投信／内外／株式  
 ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。  
 ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
 ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 2018年7月5日まで（2011年9月16日設定）  
 決算日 毎月9日（休業日の場合は翌営業日）  
 収益分配 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。  
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。
- ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の基準価額  
 ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。  
 課税関係 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。  
 ※配当控除の適用はありません。  
 ※益金不算入制度は適用されません。

## ■手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。  
 <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>
- 購入時手数料 購入時手数料率（スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。）は、3.78%（税抜3.5%）を上限として販売会社が定める率とします。  
 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。  
 <<ご参考>>  
 （金額指定で購入する場合）  
 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。  
 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。  
 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。  
 （口数指定で購入する場合）  
 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.78%（税込）で、100万円ご購入いただく場合は、次のように計算します。  

$$\text{購入金額} = (10,000円 / 1万口) \times 100万口 = 100万円、\text{購入時手数料} = \text{購入金額} (100万円) \times 3.78\% (\text{税込}) = 37,800円 \text{となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額} 137,800円 \text{をお支払いいただくこととなります。}$$
- 換金手数料 ありません。  
 信託財産留保額 ありません。  
 ※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
 <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>
- 信託報酬 純資産総額に対して年率1.666%（税抜1.59%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。  
 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.026%（税抜0.95%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.64%程度となります。  
 受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
- その他費用 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
 ※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
- ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社  
 受託会社 三井住友信託銀行株式会社  
 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター] 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

## 【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

## 【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 【信用リスク】

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

## 【為替変動リスク】

## ◆ヘッジなしコース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、原資産通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が原資産通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## ◆資源国通貨コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として原資産通貨売り、資源国通貨（オーストラリアドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの3通貨）買いの為替取引を行なうため、資源国通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が資源国通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては資源国通貨と原資産通貨の金利差を十分に享受することができない可能性や、原資産通貨の対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、資源国通貨の金利が原資産通貨金利より低い場合、原資産通貨と資源国通貨の金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## ◆オーストラリアドルコース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として原資産通貨売り、オーストラリアドル買いの為替取引を行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと原資産通貨の金利差を十分に享受することができない可能性や、原資産通貨の対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が原資産通貨金利より低い場合、原資産通貨とオーストラリアドルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

◆ブラジルリアルコース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として原資産通貨売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと原資産通貨の金利差を十分に享受することができない可能性や、原資産通貨の対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が原資産通貨金利より低い場合、原資産通貨とブラジルリアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「世界の高配当株式ファンド（通貨選択シリーズ・毎月分配型）ヘッジなしコース／資源国通貨コース／オーストラリアドルコース／ブラジルリアルコース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 日本証券業協会

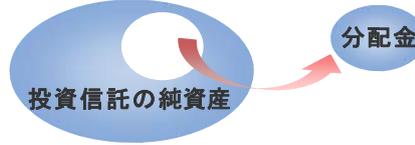
投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第20号	○			
株式会社広島銀行	登録金融機関 中国財務局長（登金）第5号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

# 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

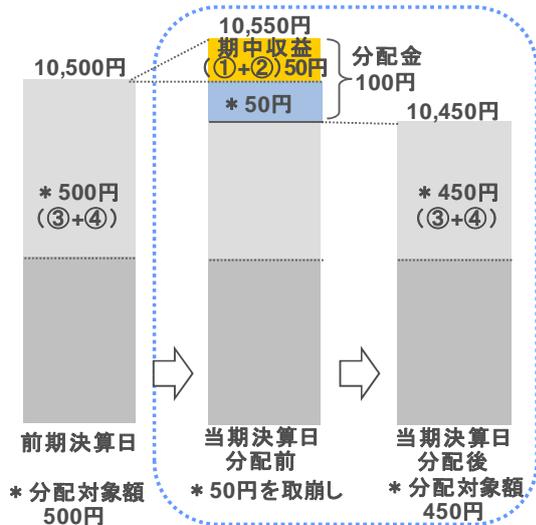
## 投資信託で分配金が支払われるイメージ



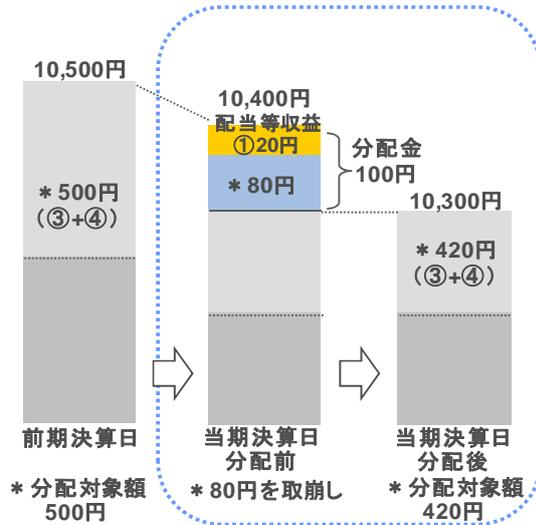
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超過して支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超過して支払われる場合

### 前期決算から基準価額が上昇した場合



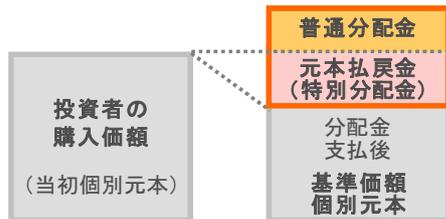
### 前期決算から基準価額が下落した場合



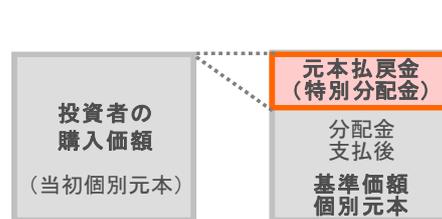
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



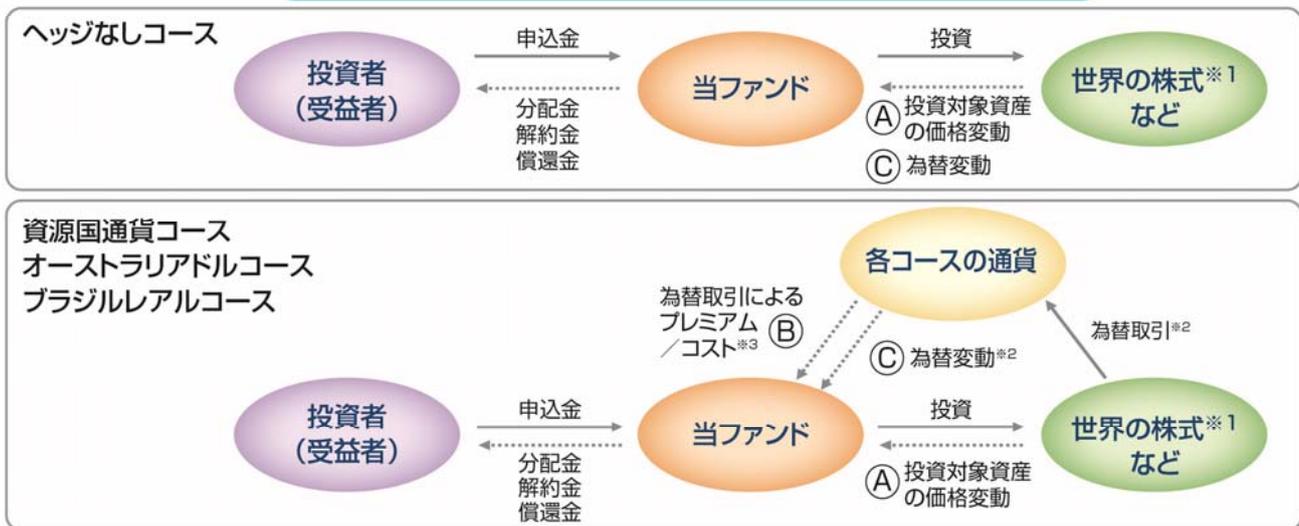
※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## 通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



- ※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。
- ※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。
- ※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、後述の「投資リスク」をご覧ください。

	(A)	(B)	(C)
<b>収益の源泉</b>	株値の値上がり/値下がり	為替ヘッジプレミアム/コスト	為替差益/差損
ヘッジなしコース	収益を得られるケース 株値の上昇	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して <b>円安</b>
	損失やコストが発生するケース 株値の下落		為替差損の発生 原資産通貨に対して <b>円高</b>
<b>収益の源泉</b>	株値の値上がり/値下がり	為替取引によるプレミアム/コスト	為替差益/差損
資源国通貨コース ・オーストラリアドルコース ・ブラジルリアルコース	収益を得られるケース 株値の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの 原資産通貨の 通貨の金利* 加重平均金利 が <b>プラス</b>	為替差益の発生 各コースの通貨に対して <b>円安</b>
	損失やコストが発生するケース 株値の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの 原資産通貨の 通貨の金利* 加重平均金利 が <b>マイナス</b>	為替差損の発生 各コースの通貨に対して <b>円高</b>

\*資源国通貨コースは、3通貨の短期金利の平均値です。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

### 通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。